

過去から未来へみんなでつなぐまちづくり

-新潟砂丘遊々会の取り組み-

新潟国際情報大学 情報文化学部
情報システム学科4年 磯貝尚輝

取り組み

- 佐潟ぐるら今昔20年
- 佐潟英口中韓仏語訳パンフレット
- 赤塚・佐潟地図研究会
- 新潟砂丘遊々会(市民プロジェクト)

これからのこと

- 思い・想いをかたちに...

佐潟ぐるら今昔20年

- 2016年11月6日 **佐潟ラムサール登録20周年記念事業**として、赤塚郷土研究会と新潟国際情報大学とで連携して行われた研究である
- 佐潟がラムサール条約湿地として登録された**1996年から20年間の環境の変化や木々の生まれ変わりや成長**といった移り変わりを感ずることができるようになった



佐潟英口中韓仏語訳パンフレット

- 日本語版だけでなく英語、ロシア語、中国語、韓国語、フランス語版を付け加えることにより、新潟市の魅力をより一層世界にPRしていく



佐潟の魅力 4カ国語に 市作成パンフを学生が翻訳

翻訳したパンフレットを持つ(左から)遠藤希さん、小倉航さん、金子修登さん

ラムサール条約登録20周年を迎えた国内最大級の砂丘湖・佐潟(新潟市西区)を世界に向けてアピールしようと、新潟市が作成した佐潟のパンフレットの翻訳を新潟国際情報大学の学生が手がけた。

翻訳版は、英語、ロシア語、中国語、韓国語、翻訳は、この月ごろから始め、このほど4カ国語が出揃った。西区自治協議会委員で新潟国際情報大学の小林満男教授が、地元の佐潟を海外の人たちにも知ってもらおうと学生に呼びかけた。佐潟をよく知らなかったという遠藤希さん(2年)は英語を担当し、「地元には貴重な資源があるのを知って、伝えていきたいと思った」。同じく英語担当の小倉航さん(4年)は「達成感がある。多くの人に見てもらいたい」と話した。

ロシア語を担当した金子修登さん(同)は「日本語の内容を理解し、自分のロシア語で表現できるように心がけた」と翻訳作業を振り返った。

パンフレットは佐潟水鳥・湿地センター(西区赤塚II)に置かれるほか、新潟市のホームページ(https://www.city.niigata.lg.jp/kurashi/kankyo/s_hizen/rural/sakata/publication.html)でも公開されている。

(西区役所地域課の事業に本学が協力)

赤塚・佐潟地図研究会

- 新潟市西区農政商工課の事業として地元の団体である「コミュニティ佐潟」「赤塚・中原邸保存会」「佐潟と歩む赤塚の会」「赤塚郷土研究会」「赤塚・佐潟歴史ガイド」等の会員をメンバーとした赤塚・佐潟地図研究会が立ち上がった

- まちなかコース、佐潟コース、砂丘コースの3つを新たにウォーキングコースに設定した



新潟砂丘遊々会

- 砂丘ウォーキング(①7月21日、②8月25日、③10月6日)
- シンポジウム(9月15日)
- ワークショップ(10月20日)
- その他・・・清掃活動、案内板の設置など



(写真)4月7日、21日の2回にわたっておこなった清掃活動の様子

新潟砂丘遊々会

赤塚郷土研究会

新潟シティガイド

コミュニティ佐潟

赤塚・佐潟歴史ガイド

佐潟と歩む赤塚の会

赤塚・中原邸保存会

新潟国際情報大学
(事務局)



水と土の芸術祭

Water and Land Niigata Art Festival 2018

市民プロジェクト

砂丘ウォーキング



2018年10月31日

新潟国際情報大学 磯貝尚輝

未来につなぐ赤塚の魅力 シンポジウム



2018年10月31日

新潟国際情報大学 磯貝尚輝

社会的共通資本

1つの国ないし特定の地域に住むすべての人々がゆたかな経済生活を営み、すぐれた文化を展開し、人間的に魅力のある社会を持続的、安定的に維持することを可能とするような社会的装置を意味する((故)宇沢弘文先生)。

(1) 自然環境

大気、森林、河川、水、土壌・・・

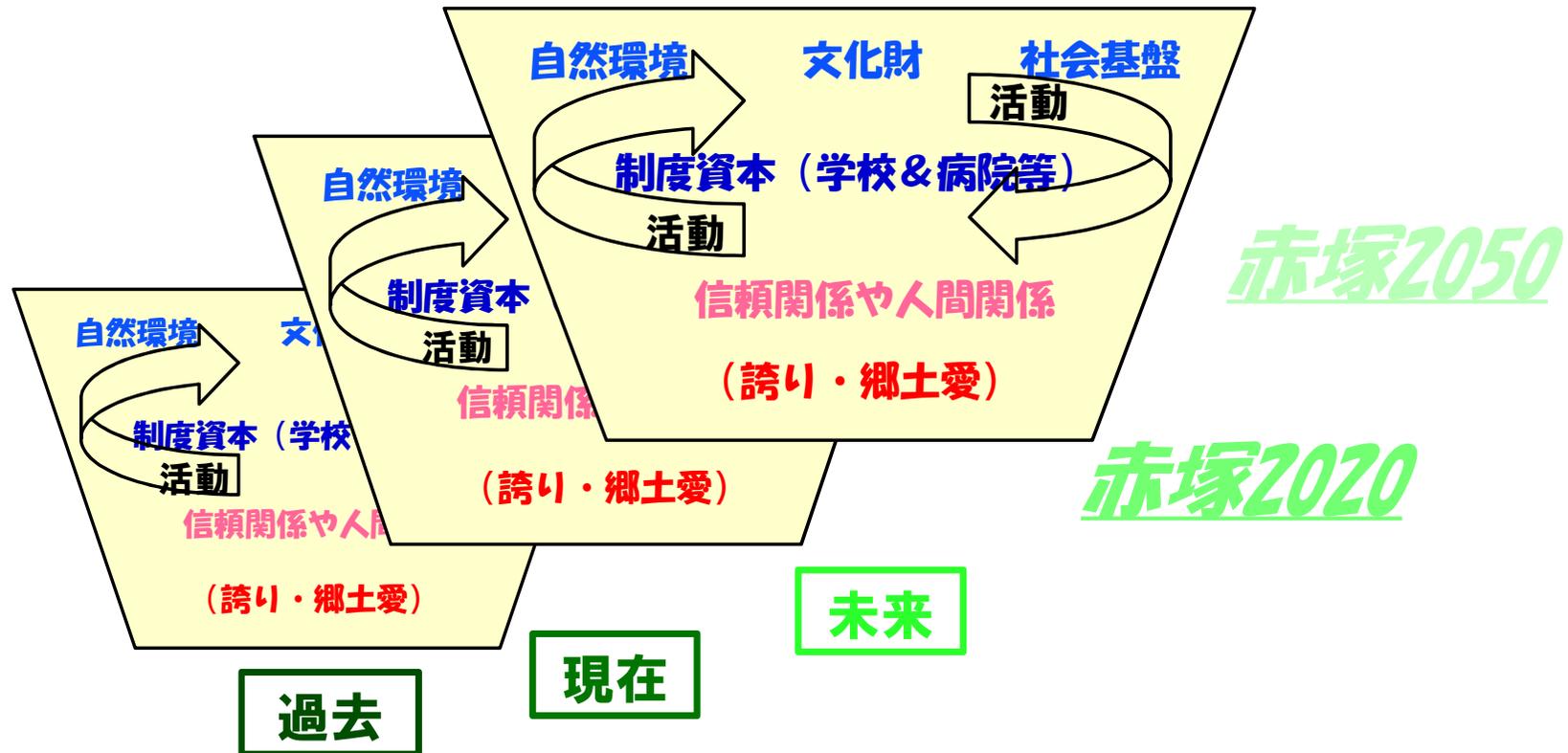
(2) 社会的インフラストラクチャー

道路、交通機関、上下水道、電力、電気通信・・・

(3) 制度資本

教育、医療、司法、金融制度・・・

宝物の継承



宝物は、人々の信頼関係や人間関係に支えられた活動によって価値を増し、社会的共通資本として次世代に引き継がれる！

赤塚のビッグピクチャー を描きませんか？

